

日本技術士会

DEI推進宣言を策定 アクションプラン作成へ

日本技術士会（黒崎靖介会長）はDEI推進宣言を策定した。多様・多彩な技術者や技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、その人らしく生きられる社会の実現に貢献することを目指す。今後、アクションプランを作成する予定。

同宣言では三つの基本方針を策定。「意識の深化」では、DEIの意義や課題について知る機会の拡大などを行い、誰もが活躍できる風土・文化

日本技術士会DEI推進宣言（概要図）

目指す姿

日本技術士会は、多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

Diversity (多様性)

性別、年齢、国籍、障害、知識、経験、専門性、価値観などの多様性を受け入れ、さらに高める

Equity (公平性)

すべての人が活躍できるように、一人ひとりの個性や特性に応じた環境、ツールを公平に用意する

Inclusion (包摂性)

個性や特性のちがいを包摂することで、すべての人が能力を発揮し、組織全体で新たな価値を創出する

基本方針

DEIを推進する3つの「シンカ」

1. 意識の深化 ～DEI風土・文化の醸成～
2. 仕組みの進化 ～多様な技術士の活躍～
3. 社会貢献で真価 ～多様な技術による社会課題解決～

DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

を醸成する。「仕組みの進化」では、技術士を目指す女性、若手技術者が育つための取り組みなどを推進し、多様な技術士の活躍につなげる。「社会貢献で真価」では、企業や教育機関、海外の技術者団体などの連携を強化し、社会課題の解決やウェルビーイングの向上につなげる。